



足立参院議員

「災害待機への補償必要だ」

台風10号で建設会社が被災

足立敏之参院議員は、台風10号の被害を受けた宮崎県椎葉村を視察した。6日の豪雨による土砂崩れでは、同村の建設会社・相生組の社宅兼事務所が被災し、同社社長の家族・社員4人が行方不明（14日正午時点）のまま。同社は、災害時の緊急対応に備えて待機している際に被災してお

り、足立氏は「災害前から待機する建設業に対し、何らかの補償を考えるべき時だ」と訴える。

足立氏によると、同社は椎葉村と災害協定を結んでいたため、災害発生後の緊急対応に備えて社内待機していたのだという。土砂災害の発生当時、社長とその家族3人、ベトナム国籍の社員2人が社宅兼事務所におり、負傷した社長を除く4人が行方不明になっている。

9日に被災した現場写真を視察した足立氏は、「建設業が災害対応に当たるためには、災害リスクと隣り合わせの環境にいる必要がある」とその危険性を強調。2020年7月豪雨で被災した大分県や岐阜県

でも、建設会社社員の自宅に被害が出ており、「災害に備えた待機がボランティアのようになっている現実がある。そこに対する補償を考えなければ、地域の建設業が報われない」と語気を強める。